

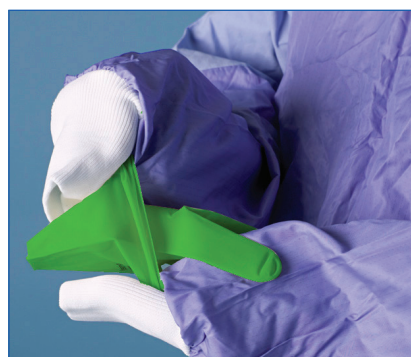
クローズド法での手術用手袋着用方法

手袋の二重装着が推奨されるのは、血液曝露による感染リスクへの防護レベルを有意に高めるため¹

着用手順



- 1 手を袖口に入れたまま、手袋の包装を開く。この時、手袋の開口部が体側に、指先は逆方向に向ける。右手で、左手袋の折り返し部分を持つ。



- 2 ガウンに入れたままの右手で左手袋を左手に、手袋の指先は肘向きで左手袋と左手の親指同士が同じ側に合わさるように配置する。左手で、手袋の裏から手袋の開口部をガウン越しに掴み、右手の親指で開口部の表側をつまむ。



- 3 左手の指を伸ばしながら開口部の折り返しを返すように装着し、手袋に手が収まる位置まで、袖と手袋を調整する。右手はガウンに収めたまま、左手袋の開口部をガウンの袖口を覆うように装着する。



- 4 この手順を右手側で繰り返す。手袋を着用した左手を使用して、右手首に右手袋を置く。袖と手袋の両方を同時に引く。4本の指すべてを使って手袋の手首の部分を引き。手袋の手のひら部分は引っ張らない。



- 5 両手に手袋を装着した滅菌状態で手袋を微調整する。ガウンのたるみを伸ばすため、袖を覆っている手袋開口部を軽く調整する。

手袋とガウンの隙間を生じさせないため、以下の点に注意する。

- ・ ガウンの袖口が手首の付け根についているか
- ・ 手袋がガウンに十分に被覆しているか
- ・ 手袋にしわがないか



- 6 手袋の二重装着時の触感や作業性能の様々な試験・調査が行われており、二重装着時の触感や作業性能は一重装着時と変わらないとされている。

二重装着時のアウター用の手袋も、インナー手袋と同じ手順で着用する。



- 7 すべての手術において、2時間ごとの手袋交換が推奨されている。整形外科措置やハイリスクな施術では、さらに定期的な手袋交換が推奨される。

手袋が破損した場合、アウター・インナー両方交換することがベスト。アウター手袋が破損した場合、インナー手袋への影響の可能性がある。⁵

インナー手袋を色付きの手袋にすることで、ピンホールの気付き率が86% 有意に向上⁴



手袋の二重装着は、そうでない場合に比べ手袋のピンホールが71% 減少³

手術室における血液曝露の主な原因は、手袋のピンホールと破損である²

参考文献

1. Opinion of the scientific committee on medical products and medical devices on 'The protection offered by natural rubber latex devices (medical gloves and condoms) against transmissible diseases'. European Commission. Health & Consumer Protection Directorate-General. October 2003)
2. Clyde Smoot E. Practical Precautions for avoiding sharp injuries and blood exposure. Plast Reconstr Surg. 1998; vol. 101(2): 528-534
3. Mischke C, Verbeek JH, Saarto A, Lavoie MC, Pahwa M, Ijaz S. Gloves, extra gloves special types of gloves for preventing percutaneous exposure injuries in healthcare personnel (Review) The Cochrane Collaboration
4. Laine T, Aarnio P. How often does glove perforation occur in surgery? Comparison between single gloves and a double-gloving system. American journal of surgery 2001;181:564-6
5. Thomas-Copeland J. Do surgical personnel really need to double glove? AORN J. 2009;89(2): 322-328.:

Ansell, ® and ™ are trademarks owned by Ansell Limited or one of its affiliates. ©2018 Ansell Limited.